

## 雲仙岳の火山活動解説資料（平成 20 年 8 月）

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## ○ 8 月の活動概況

## ・噴煙など表面現象の状況（図 2）

噴煙は白色、ごく少量で高さの最高は 10m と低調に経過しました。

## ・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）

火山性地震の発生は 3 回（7 月：1 回）と少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。

## ・地殻変動の状況（図 1、図 4）

GPS 連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

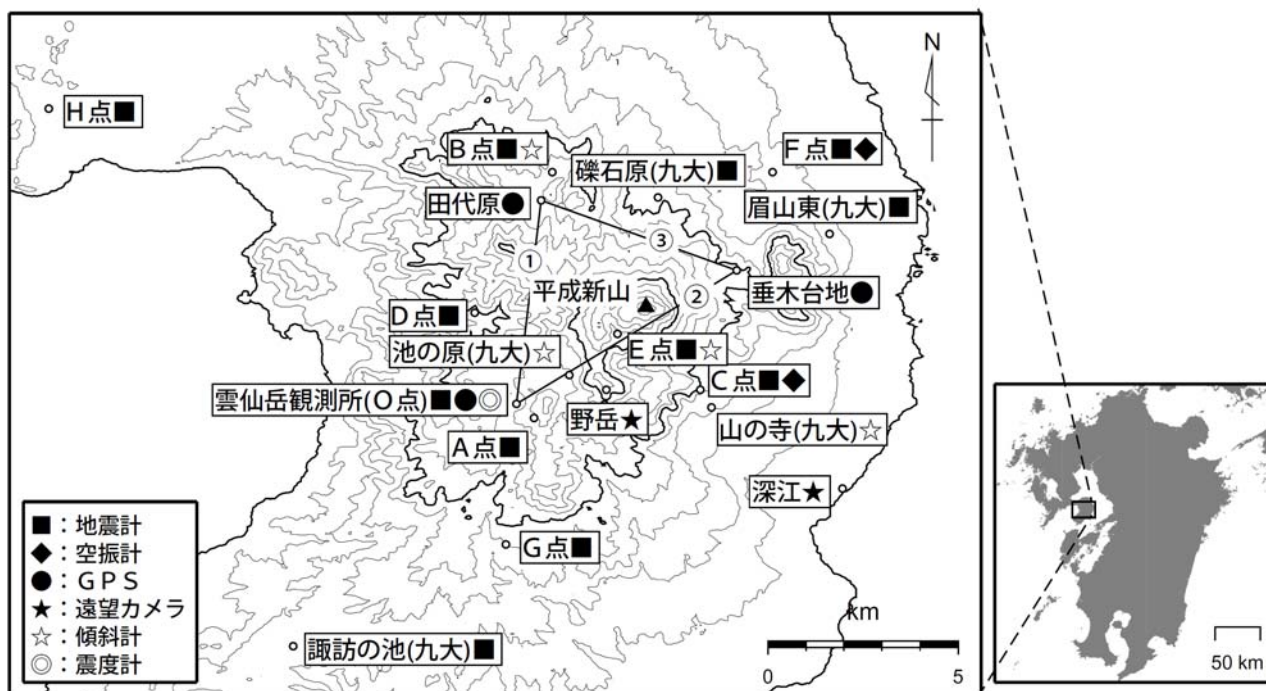


図 1 雲仙岳 観測点配置図

※この資料の作成に当たっては、気象庁のデータその他、九州大学のデータを使用して作成しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）、福岡管区气象台ホームページ（<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 20 年 9 月分）は平成 20 年 10 月 7 日に発表予定です。

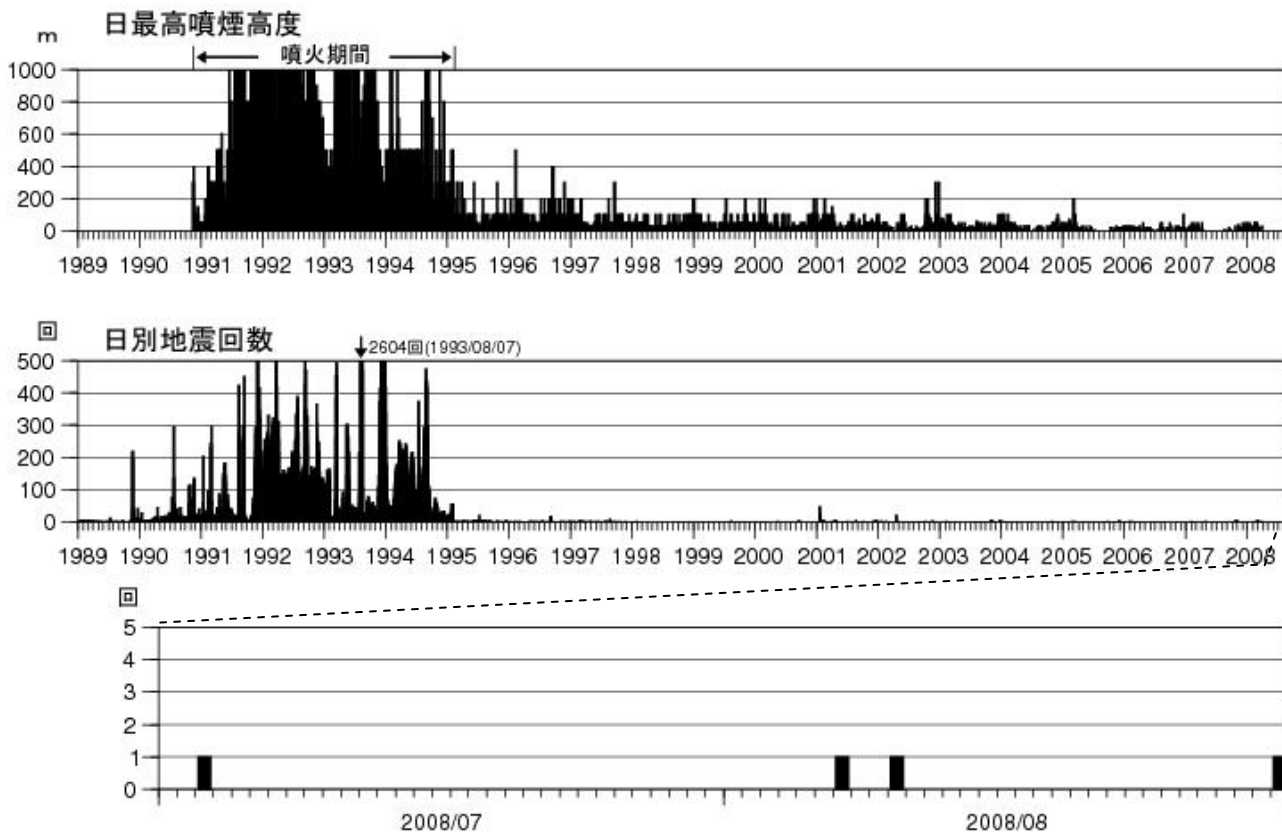


図2 雲仙岳 火山活動経過図（1989年1月～2008年8月）

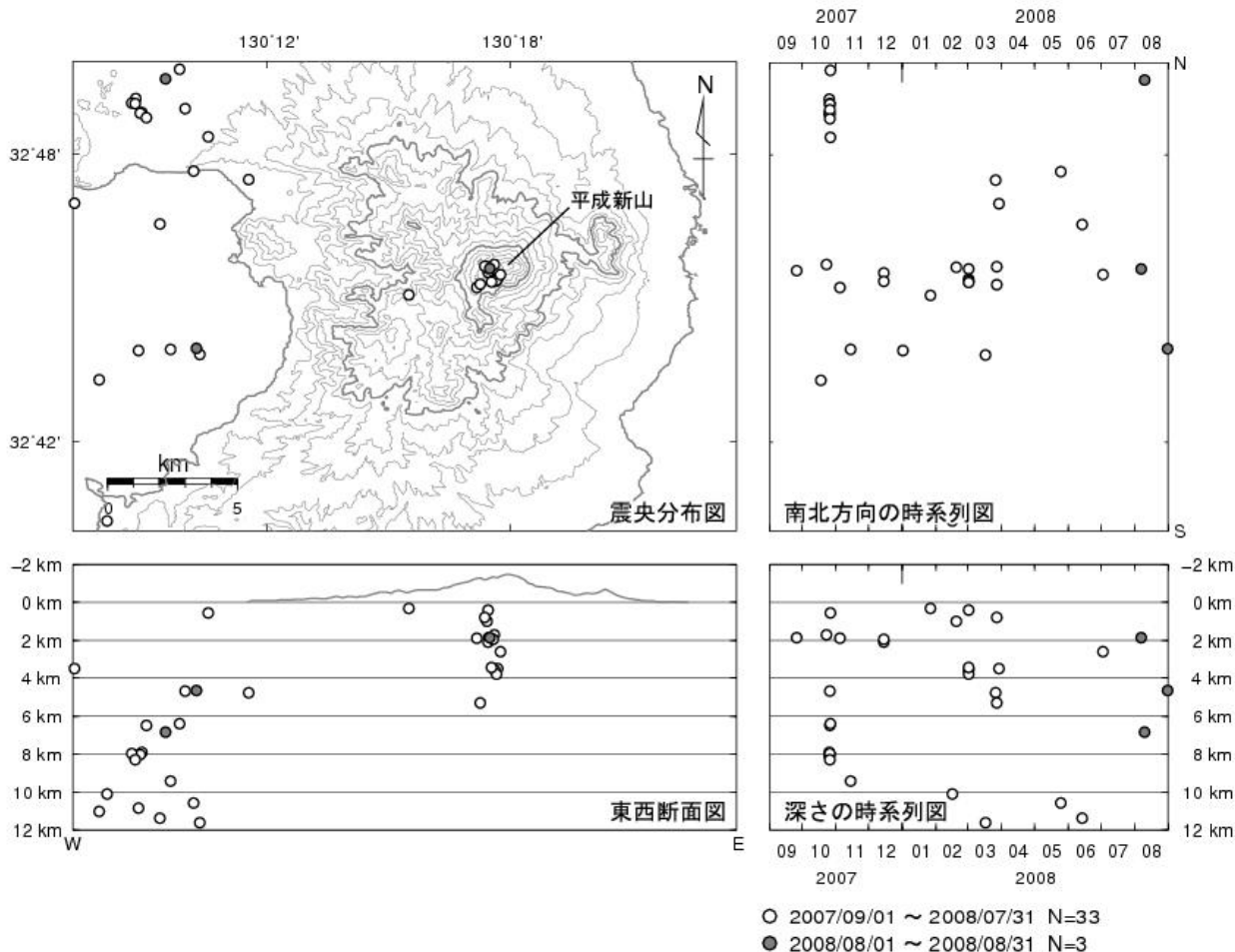


図3※ 雲仙岳 震源分布図（2007年9月～2008年8月）

今期間は、平成新山直下と橘湾、平成新山から北西約15km と、これまでも発生しているところに震源が求まりました。

雲仙岳

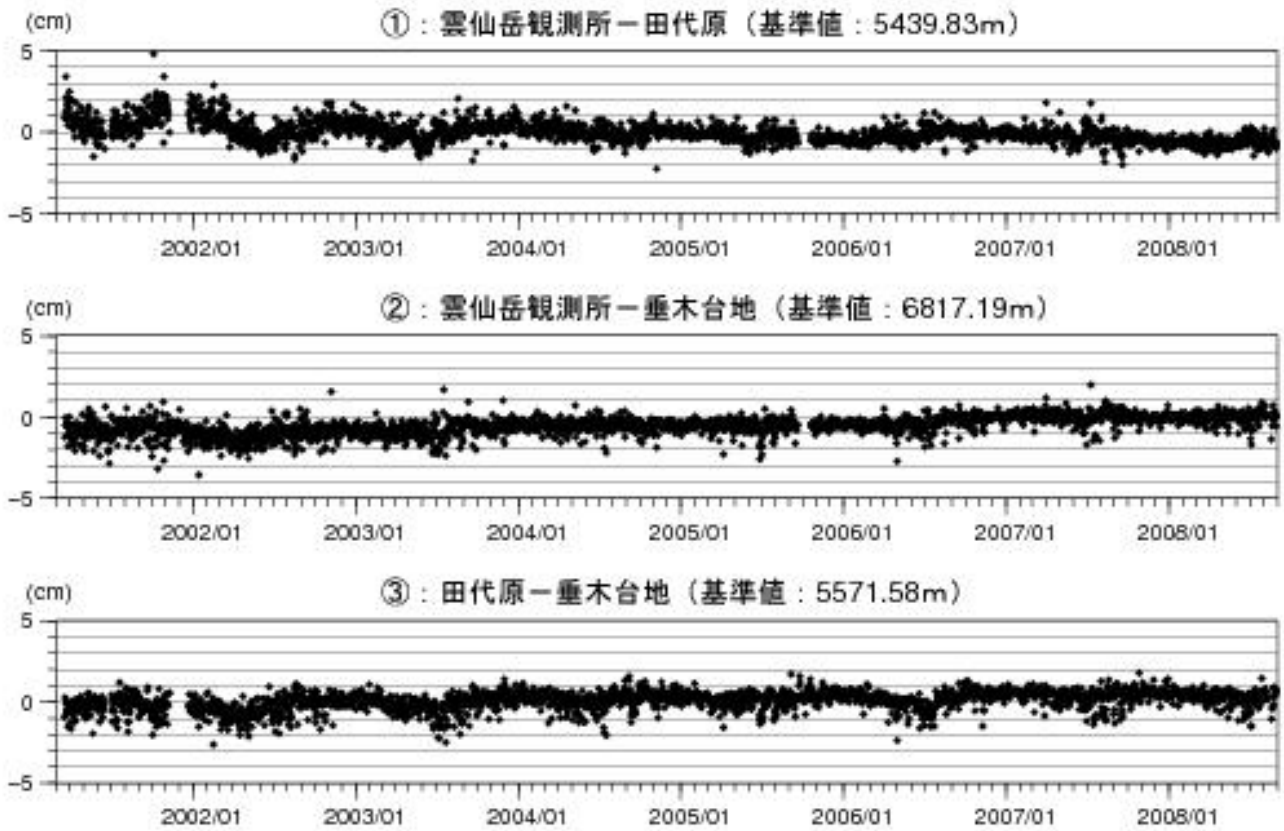


図4 雲仙岳 GPS連続観測による基線長変化(2001年3月20日～2008年8月)  
火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。